

かむかむ



とうせい歯科医院

〒399-4117 駒ヶ根市赤穂小町屋10737-1

TEL. 0265-83-0888

E-mail tousei@avis.ne.jp <http://www.mcci.or.jp/www/tousei/>

歯科治療の経年変化について、(3)

最新の注意を払い、熟練した歯科医師、歯科技工士の技術により作り出される歯科治療物（銀歯から入れ歯まで）、そしてその後をケアして長く維持するために、一緒になってお手伝いする歯科医療スタッフ（歯科医、歯科衛生士、歯科助手など）と共に、患者さん御本人がいかにして自分を守れるか？ そのために歯科医療人と、どの様に付き合っていくか？ が、とても重要となって来る事でしょう。

やはりどんな歯科治療も永久でない以上、経年変化での問題を早めに見つけて早めに治す事で、長期に維持管理して行くための知恵と工夫が必要です。

その中でも、以前からこの「かむかむ」でお知らせしてきている「ブラキシズム」：歯ぎしり（歯ぎしり、だけでなく噛みしめ、食いしばり、）や、T.C.H.（歯牙接触癖）についての知識と対処方法が、長期予後（治療後の経過観察）の面で、その後のお口の中の状況を変化させて行く問題として、大変重要になって来る。と言えるのです。

当歯科医院は、開業以来 35 年目を迎えますが、長年お付き合い頂いている患者さん方のお口の中を治療後、経過観察していると、個人差はありますが、ある一定の法則でお口の中は壊れて行くのだな。と、言う感想を持ちます。

「分かっているなら問題が起きないように出るだろう」と、思う方もいるでしょうが、常に力が加わる環境下では、経年変化が必ず起きてきます。更にお口の中の環境は、温度刺激や酸やアルカリなどの科学的な刺激、そして単位面積（1平方cm）に換算すると、なんと！1 トンを超える程に匹敵する咬合力が加わる（実質 1.2~3.2 平方ミリメートル当たり 60~90 キログラム）環境なのです。何十年と長年使用し続ける歯に対しては、咬耗（すり減り）やヒビワレや歯が欠ける、割れるという事が起きても不思議ではないでしょう。

何事も初期の段階では、問題の起きる前触れは気づき難いものです。そこで、日頃の定期的検診（点検）の上で、補強の意味で未然に対策を打つ事（マウスガードの使用、初期の段階で治療を受ける、お口のリハビリ体操をする、ストレスコントロールをアドバイスを受けながら実行する、など）が、今後のお口を長く使用する上で大切に成って来る様なのです。

予防歯科医療が叫ばれ、保険診療では、満足な治療（回数制限、期間制限）や、最新の治療（使用材料の規制、使用できる薬剤の制限）、経過観察の上で長く耐久性のある治療（最良の材料）が受けられない。とすると、保険外の高額な歯科治療を選択して行く事が必要となります。しかもそれで一生涯死ぬまで持つと言う保証も有りません。（つづく）